

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

【学 年】 小学校第2学年

【単元名】 ひょうしを かんじて ひょうげんしょう（器楽）（全8時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力、判断力、表現力等〕
<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拍子が変わることで、感じ取る曲の気分が変わるということ。</li> <li>・拍子にはも強拍・弱拍の関係があり、それを表現することで、その拍子の感じが表せるということ。</li> </ul> <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拍子の感じを表しながら、拍の流れに乗ってリズムを打つことができる技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2拍子、3拍子の感じの違いを感じ取り、その拍子らしさを表すために、強拍と弱拍を生かしたリズム打ちを工夫する力。</li> </ul>

【主な学習活動と留意点】

前題材からのつながり：題材「はくのまとまりをかんじとろう」において2拍子と3拍子の感じの違いを感じ取る学習を行った。

動かせる見方・考え方：音楽に対する感性を働かせて、強拍や弱拍の効果を視点に、グループ内のリズム表現を捉え、拍子固有の拍子らしさを表す表現の仕方を考えること

段階	学習活動（時間）	留意点
第一 次	<p>リズム譜になれ、2拍子を感じながら、♪♪、♪♪ のリズムが打てるようになる</p> <p>◇「この空とぼう」を聴き、2拍子に合わせて手遊びをする(1)</p> <p>◇打楽器の奏法や楽器の持ち方に気をつけて打楽器で演奏する(1)</p>	<p><b>2拍子らしさをリズム打ちで表現する場面</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☞音楽に合わせて自由に手や体を使ってよいことを伝え、なぜその動きになったのかの理由を問う。</li> <li>☞楽器の扱いについて説明した後、楽曲に合わせて2拍子らしさを表す演奏となるよう、演奏を工夫するよう促す。</li> </ul>
第二 次	<p>3拍子を感じながら、♪♪♪、♪♪♪ のリズムが打てるようになる</p> <p>◇「いるかはざんぶらこ」を聴き、3拍子に合わせて手遊びをする(1)</p> <p>◇打楽器パートのリズム打ちをする(1)</p> <p>◇リズムボード上で強拍・弱拍を工夫し、楽器で演奏する(1)</p>	<p><b>3拍子らしさをリズム打ちで表現する場面</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☞教科書の楽譜を用いて、このリズムでどのようにしたら3拍子の感じが出せるかを問い、演奏を工夫するよう促す。</li> <li>☞工夫した演奏の仕方を「リズムボード」に記録したり、記録したり演奏するときの工夫をさらに考えたりするよう促す。</li> </ul>
第三 次	<p>2拍子らしい感じが表せるリズム伴奏の仕方を考え、♪♪、♪♪♪ 等のリズムが打てるようになる</p> <p>◇「山のポルカ」に合わせて♪、♪ を交えたリズム打ちをする(1)</p> <p>◇打楽器パートのリズムを確認し、2拍子らしさが表れるように工夫する(1)</p> <p>◇拍子の学習をまとめる(1)</p>	<p><b>2拍子らしさを生かしてリズム表現を工夫する場面</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・♪、♪ を交えたリズムを提示し、リズムを把握した後、楽曲に合わせてリズム打ちをするよう促す。</li> <li>・「リズムボード」を用いて、どのように演奏すれば2拍子らしさが表れるかをグループで考えたり、タンブリン、カスタネットを使って実際に演奏したりするよう促す。</li> <li>・2拍子と3拍子の感じの違いや、演奏するときの気をつけたことなどを自分の言葉で発表するよう促す。</li> </ul>

次題材へのつながり：題材「いろいろな音に親しもう」の音探しの場面において、本題材で培った強弱に対する見方・考え方を活用して、音色の特性に触れる授業を行う。

